

地球温暖化とは？

1990年代に入ってから、地球温暖化が生物界全体に深刻な問題をもたらすと指摘され始めた。地球温暖化とは、人間活動の拡大により二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素などの温室効果ガスの大気中の濃度が増加し、地表面の温度が上昇する。温室効果ガスの濃度が現在の増加率で推移した場合、今後100年間で最大5.8度の気温上昇が予測されている。

なぜ起こるのか？

産業や交通の発達によって二酸化炭素などの温室効果ガスが大量に排出される様になった。この温室効果ガスはこれまでのバランスを超えて地表から放射された赤外線を吸収してしまいその結果地表の温度が上昇してしまう。

温室効果ガスにはさまざまな物質があるが、主なものとして次の5つが知られている。

- 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)
- メタン (CH<sub>4</sub>)
- 亜酸化窒素 (N<sub>2</sub>O)
- 対流圏オゾン (O<sub>3</sub>)
- クロロフルオロカーボン (フロン :CFC)

地球温暖化による影響は、気象や自然環境への影響と、社会や経済への影響とに大別される。

どんなことが起こるのか

気温への影響

地球の平均地上気温は1990年から2100年までの間に1.4から5.8度上昇すると予測されている。

気象現象への影響

地上の温度分布が変わることによって気圧配置が変わり、これまでとは異なる気象現象が発生したり、気象現象の現れ方が変わったりすることが考えられている。

降水量の変化

大気中の水蒸気量の増加により、平均降水量は21世紀中は増加すると予測されている。

海水面の上昇

地球全体の気温が上昇し、陸上の氷床・氷河の融解や海水の膨張が起こると、海面上昇が発生する。

海水温・海洋循環への影響

地球規模の気温上昇に伴い、海水温も上昇する。平均海水温が上昇するだけで、生態系が変化するとされている。

社会・経済・生活への影響

異常気象の増加（熱帯低気圧、嵐や集中豪雨）による物的・人的・経済的被害の増加、気候の変化による健康への影響や生活の変化などが考えられている。

また、

一概に地球温暖化によるものとは言えないが食糧に関連する生物

や植物、水資源等にも影響が及ぶと考えられている。

具体的対策



地球温暖化に対する国際的取り組み



地球温暖化問題に対する取組として、1992年に国連気候変動枠組条約が採択され、京都で開かれたその第3回締約国会議（COP3）において、京都議定書が採択されました（1997年）。条約には191ヶ国が、議定書にはその191ヶ国のうち、174カ国・地域（EU）が参加しており、気候変動に対する国際的取組の中心となっています。

個人で出来る事

冷房の温度を **1°C** 高く、暖房の温度を **1°C** 低く設定する

◆ 年間約 33kg の CO2 の削減

◆ 年間で約 1,800 円の節約

通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用する

◆ 年間約 184kg の CO2 の削減

◆ 年間で約 9,200 円の節約

**1日5分**のアイドリングストップを行なう

◆ 年間約 39kg の CO2 の削減

◆ 年間で約 1,900 円の節約

テレビなど長期間使わない時はコンセントを抜く。

◆ 年間約 60kg の CO2 の削減

◆ 年間で約 3,400 円の節約

身体を洗っているあいだ、お湯を流しっぱなしにしないようにする。

◆ 年間約 69kg の CO2 の削減

◆ 年間で約 7,100 円の節約

風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

◆ 年間約 7kg の CO2 の削減

◆ 年間で約 4,200 円の節約

ポットやジャーは多くの電気を消費するので、保温を止める。

◆ 年間約 34kg の CO2 の削減

◆ 年間で約 1,900 円の節約